

2022 年度日本マレーシア学会 (JAMS) 会員総会議事録

2023 年 1 月 27 日 事務局

日時:2023 年 1 月 22 日(日) 13:20-13:50

会場:上智大学四ツ谷キャンパス 2 号館 410 教室

1. 報告事項

(1)会長(永田)

今年度は現在までのところ、会長として独自に企画した JAMS の活動はありません。ただ私が執筆を担当し 7 月に HP で公開された「日本マレーシア学会 (JAMS) 運営方針 (2022 年度～2023 年度)」において、特に 2 点留意していきたいと述べた点の 1 点目、コロナ禍の経験も踏まえた多様な活動形態・内容の模索という点に関しては、対面とオンラインを適宜組み合わせつつ、クアラルンプール地区研究会の開催、異なるテーマ・趣旨による例会の開催、1 月の大会でのポスターセッションの導入と行った形で、担当理事や会員のご尽力により、実績を積み上げていくことができました。また 2 点目の次世代を担う若手研究者の支援という点に関しても、担当理事を中心に科研申請のサポートの企画を進め、会員より一定の反応を得ることができました。個別の活動内容の詳しい報告に関しては各担当理事に委ねたいと思います。

(2)総務(山本)

- ・2022 年 12 月末の時点での会員数は 208 名。前回研究大会時より、退会 3 名、入会 5 名で 2 名増。
- ・会費滞納者に個別に督促する。連絡先不明の場合は会員 ML 等で連絡先等の情報提供を呼び掛ける。
- ・2022 年 6 月 20 日に会員名簿を発行した。
- ・毎月の「知識探訪」を含め、学会 HP の情報更新を随時行っている。

(3)編集(篠崎)

- ・会誌『マレーシア研究』第 11 号を 2022 年 8 月 31 日付けで刊行した。
- ・第 12 号の原稿を募集し、2023 年 3 月の刊行を目指して編集作業を行っている。

(4)大会(久志本)

- ・2023 年 1 月 22 日に研究大会を開催した。研究大会では、シンポジウム、個別研究報告、ポスターセッションを行った。

日時 2022 年 1 月 22 日(日)

会場 上智大学四ツ谷キャンパス、ZOOM 同時接続

(5)例会(久志本)

今年度は通常の例会に加え、「学振特別研究員申請応援セミナー」「JAMS ブックサロン」「私の研究つれづれ草」の新企画により例会を行った。すべてオンライン形式で行った。

- ・2022 年 4 月 24 日 18:30-21:00「学振特別研究員申請応援セミナー」

「制度の概要、申請書の書き方の基本と学振特別研究員としての生活」久志本裕子(上智大学)

「学振特別研究員 DC1 の経験とその後のキャリア形成」上原健太郎(京都大学)

「ストーリーを作ろう: 申請書の作成と研究者としてのキャリア形成」篠崎香織(北九州市立大学)

・2022年10月14日 15:30-17:00「JAMS ブックサロン」

篠崎香織「Heng Pek Koon. 1988. *Chinese Politics in Malaysia: A History of the Malaysian Chinese Association*. Singapore, etc.: Oxford University Press.」

・2022年11月25日 20:00-22:00 例会「2022年マレーシア総選挙を考える」研究会

中村正志「パワーシェアリングの行方」

篠崎香織「民族マイノリティの選択」

山本博之「地域政党と連邦・州関係」

・2022年12月16日 20:00-21:30「私の研究つれづれ草」

「Why Malaysia? -1980年代から90年代初頭の記憶をたどって」

穴沢眞(小樽商科大学)

金子芳樹(獨協大学)

(6)連携研究会(篠崎)

舛谷鋭会員のご助力により、国際交流基金クアラルンプール日本文化センターの協力のもと、現地対面とミックス配信でクアラルンプール地区例会を開催した。(以下、開催は日本時間)

・2022年4月23日 15:30-17:00

「マレーシア多言語社会の中での言語学習:個人的な体験」シア・リーリン(作家、翻訳家)

・2022年5月21日 15:30-17:00

「マレーシアの最近の文化芸術事情～映画関連を中心に」久貝京子(国際交流基金クアラルンプール日本文化センター文化事業部部長補佐)

・2022年7月30日 15:30-17:00

「マレーシアの盆踊り大会への異論について」レオン・ユットモイ(Deputy Head, School of Media, Languages and Culture, University of Nottingham Malaysia)

(7)若手育成(穴沢)

・2022年4月24日、例会として「学振特別研究員申請応援セミナー」を開催した。(開催情報は例会の項目を参照。)

・本学会のシニア会員が「科研費申請作成上のポイント」を作成し、希望者への配布および個別の相談受付について2022年9月7日に会員メールリストで案内した。

2.審議事項

(1) 2021年度の決算について

・添付ファイル「JAMS2021 年度決算報告」をもとに光成歩総務委員により決算が説明され、金子芳樹監査により監査報告がなされ、原案の通り承認された。

(2) 2023 年度の予算案について

- ・添付ファイル「日本マレーシア学会 2023 年度予算案」をもとに光成歩総務委員により予算案が説明され、原案の通り承認された。

(3) 2023 年度の研究大会について

- ・久志本大会理事より、2023 年度研究大会について、会場は東京大学駒場キャンパスとすること、開催時期は 2023 年 12 月から 2024 年 1 月の間の時期を予定しており、具体的な日程は 2023 年 4 月以降に理事会が決定して会員メーリングリストで告知することが提案され、提案の通り承認された。

以上

JAMS2021年度決算報告(単位:円)

2020年度繰越金			2,292,380 ①			
2020年度以前会費後払い分			140,000 ②			
収入			支出			
	予算	収入		予算	支出	
会費			通常支出			
一般 (3,000×140)	420,000	252,000	会誌	450,000	326,065	
学生 (2,000×20)	40,000	8,000	研究大会	70,000	8,600	
賛助会員	120,000	120,000	情報化経費	120,000	21,890	
利子	0	12	通信費	40,000	0	
			事務諸経費	20,000	7,650	
			原稿料	72,000	66,000	
			業務委託費	93,500	93,500	
			特別支出			
			理事選挙	0	72,939	
収入合計	580,000	380,012	支出合計	865,500	596,644	④
2021年度収支 (③-④)			-216,632 ⑤			
2021年度繰越金 (①+②+⑤)			2,215,748 ⑥			
2022年度以降会費前払い分			199,000 ⑦			

上記の2021年度収支決算報告の内容に相違ありません。

2023年 1月 7日

総務担当理事

山本博之 

日本マレーシア学会規約に基づき、会計の状況を監査いたしました。
決算報告について、収入・支出状況に関わる付属文書等を参照し、監査を行った結果、
適正であると認めます。

2023年 1月 9日

監事

金子芳樹 

日本マレーシア学会2023年度予算案 (単位：円)			
収入		支出	
会費		通常支出	
一般 (3,000×140)	420,000	会誌	450,000
学生 (2,000×20)	40,000	研究大会	70,000
賛助会員	120,000	情報化経費	122,000
		通信費	20,000
		事務諸経費	20,000
		原稿料	72,000
		業務委託費	93,500
		特別支出	
		理事選挙	150,000
収入合計 (①)	580,000	支出合計 (②)	997,500
2023年度収支 (① - ②)			-417,500